

【教育目標】 「主体的に行動する」「すすんで貢献する」「多様性を理解する」「新たな考えを創造する」

令和7年度 第7号
令和7年11月6日

「高島なかよし通り学びのエリア」
高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校

◆生徒の様子は学校ホームページをご覧ください



高二中だより



板橋区立高島第二中学校 〒175-0082 東京都板橋区高島平 2-24-1

Tel 03(3936)1591

Fax 03(3935)6441

発明王エジソン

秋が深まり、木々の葉が赤や黄に染まりはじめました。朝夕の風も冷たくなり、冬の足音がすぐそこまで聞こえてきます。校舎の窓から見える空の色にも季節の移ろいを感じる頃となりました。みなさんにとって、この11月は、期末テストに向けて力を試す大切な時期ですね。「テスト」と聞くと、不安や焦りを感じる人もいるでしょう。でも、テストは「自分がどれだけ成長したか」を確かめるチャンスです。できなかった問題を復習し、少しでも前より理解が深まったとき、人は確実に力をつけています。そうした小さな積み重ねが、やがて大きな自信に変わっていきます。

ここで、みなさんに一人の偉人の話を紹介します。トーマス・アルバ・エジソン、世界で初めて実用的な電球を発明し、私たちの生活を明るく照らした発明家です。「エジソン」と聞くと、なんとなく「賢い人」「すごい人」「天才」のようなイメージが浮かぶかもしれませんが、むしろ彼は子どもの頃周りから「落ちこぼれ」だと思われていました。学校では集中力が続かず、教師から「この子は学びに向いていない」とまで言われたそうです。そんな彼を信じ、支え続けたのは彼の母親でした。母親は彼を学校から引き取り、家庭で学ばせることを選びました。エジソンはその後、独学で興味のあることをとことん追求するようになります。

彼は、実験で失敗を重ねるたびに記録を残し、「なぜうまくいかなかったのか」を考え続けました。電球を完成させるまでに、使った素材は6,000種類以上にのぼったといわれます。まさに、失敗の数だけ成長があったのです。後にエジソンはこう語りました。「私は失敗したことがない。うまくいかない方法を、1万通り発見しただけだ。」この言葉にこそ、学ぶ姿勢の本質があります。

皆さんはできなかった問題に出会ったとき、「ダメだ」と諦めてしまっていないですか？そこで止まるのではなく、これが自分の次の成長のきっかけだと考え直してみるのはいかがでしょうか？いきなり大きな目標を立てる必要はありません。今日は英単語を10個覚えよう、数学の例題を3問やってみよう。そんな小さな達成を続けることが、やがて大きな力となります。

寒さが増してくるこの季節は体調を崩しやすくなります。温かいお茶を飲んだり、勉強の合間に体を伸ばしたりして、心と体のリズムを整えましょう。努力は、どんなに小さくても決して皆さんを裏切りません。テストに向けて、自分の目標に向けて、一歩ずつ、確かな歩みを続けていきましょう。

【制服・体操服・ジャージ リサイクル寄付のご協力をお願い】

・衣替えの時期になりました。ご家庭で着られなくなった制服等がありましたら高島第二中学校 職員室までお持ちいただけたら大変助かります。

【学校連絡メール『すぐる』登録のお願い】

・まだ登録されていない方は、お早めに登録をお願いします。登録用紙（個人用のID・パスワード付）を紛失された方は担任までお申し出ください。再発行をいたします（なお、年度当初に登録された方は、今回再度の登録の必要はありません）

月
日
曜
日
昼

*裏面『最近の出来事（写真掲載等）』については、個人情報流出防止のため HP 上ではカットしています。